

サークル名

久留島会 1965 年～

➤ 結成のきっかけ

昭和 35 年（1960 年）6 月 27 日、久留島武彦先生が 86 才で鎌倉の角田病院で逝去され、横浜市・総持寺において葬儀が営まれました。同日、郷里・玖珠郡森町でも、有志が集い、久留島家の菩提寺・安楽寺で、遺徳を偲び法要を行いました。それ以後も、毎年 6 月 27 日、安楽寺で追悼法要を継続していました。昭和 40 年、5 月 5 日の前日祭の一環として久留島武彦先生の顕彰と法要を営みました。その後、昭和 40 年 7 月、「末永く先生の業績と顕彰を継承する」ことを目的に、地域の理解をいただき結束し、会則、会員組織を作り、本会を設立しました。昭和 41 年 6 月 27 日に法要と総会を行いました。第 1 回久留島会です。当時の会員は町内外、遺族、文化人、百数十名でした。

➤ 活動の特色

児童教育家・久留島武彦先生の偉業をしのび、業績と理念を受け継ぎ広く全国に呼び掛け、顕彰事業を行っています。モットー「桃太郎主義」、「子供が育たなければ日本の未来はない」、「継続は力」菩提寺・安楽寺にある、久留島先生の墓地清掃を行い、清潔に維持管理し、武彦先生に対する尊敬の念を表し、来訪者にも武彦先生に対する尊敬の念を抱いてもらえるように整備しています。

毎年の「法要」を町、関係者各機関、会員に案内実施。皆さんのご参加を頂いています。

➤ これまでの活動

➤ 現在の活動

(わらベサークル結成以後) 1984 6 月 27 日第 25 回忌、久留島先生祥月命日法要。墓地清掃維持管理。=毎年開催。 1984 わらべの館開館に際し、館内設置の久留島記念室の資料収集整備、公開に協力。 1989 三島公園内に生誕の碑建立（5 月 4 日） 1991 久留島記念館の移転（森下町）に協力。 1996 久留島武彦顕彰記念第 1 回語りべ大会～ 2001 久留島武彦絵葉書「武彦のふるさと」製作。久留島武彦関係資料収集活動（CD 等）。 2009 第 50 回久留島先生祥月命日法要。 2012 第 17 回語りべ大会主催。（最終回） 2013 第 1 回久留島武彦顕彰全国語りべ大会共催 2014 久留島武彦記念館建築陳情採択。落成 2017	6 月 27 日、久留島先生祥月命日追悼法要。総会。久留島先生墓地清掃維持管理。ご遺族との交流。会報「桃太郎」発行。久留島関係資料収集。 久留島武彦先生顕彰式。 久留島武彦先生の理念と業績を継承、顕彰・広報。 久留島武彦顕彰全国語りべ大会・共催。 日本童話祭に協力。 わらベサークル協議会に参加～主催事業参加。 わらべの館、久留島武彦記念館の運営に協力 ◎組織（会員の高齢化による課題の解決を検討） 2023 年時久留島会役員 会長 秋山泰士、副会長 河谷俊彦、事務局 秋山泰士。評議員・荒木盛男、衛藤浩、安部薫、得重嘉彦、園田佳太、西弘道、疋田福子、会員町内外 90 名
顕彰記念語りべ大会は顕彰全国語りべ大会に移行	諸施設諸行事が完成実施。法要と顕彰活動が中心



久留島武彦先生墓地 安楽寺 1961 年



久留島武彦生誕碑と立像 1989 年 2019 年



第 64 回祥月命日追善法要 2023 年 6 月 27 日



墓地清掃維持管理 2018 年



第 10 回久留島武彦顕彰全国語りべ大会 2022 年



第 9 回久留島武彦顕彰記念語りべ大会盾 2004 年

掲載写真は毎年行っているものがほとんどですが、編年の関係で年次を記載しております。